

河川管理用通路におけるインフルエンサーを起用した安全利用の啓発活動に関する検討

Consideration of Awareness-Raising Activities for Safe Use of River Management Corridors using Influencers

水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 片岡 輝之
 水循環・まちづくり・防災グループ 次 長 風間 聡
 水循環・まちづくり・防災グループ グループ長 清水 晃
 水循環・まちづくり・防災グループ 主任研究員 阿部 充

1. はじめに

河川空間におけるサイクリングは、まちなかの道路と比べて、自動車や信号がなく、景観や風が気持ちよい等の魅力があり、その需要は増えている。その一方で、ジョギング、サイクリングなど多くの方が様々な利用している中で、高速走行の自転車と歩行者との事故やトラブルが発生している。

荒川下流河川事務所管内に整備された緊急用河川敷道路でも、自転車に関するトラブル等が発生しており、その対策として、荒川下流河川敷利用ルールの策定や定期的なマナーアップ活動が行われている。

2. インフルエンサーを起用した啓発活動の実施

荒川下流河川敷利用ルールの認知度向上や自転車利用者・歩行者の相互理解の促進のために、多くの利用者に情報を届けることに着目し、インフルエンサーを起用した SNS による情報発信を実施した。

2-1 インフルエンサーの概要

自転車に関する情報を発信しているインフルエンサーの中で、YouTube や Instagram 等の SNS の媒体で一定数の登録者を有するインフルエンサーを選定し（表-1）、依頼をすることとした。

表-1 インフルエンサーの概要

インフルエンサー	登録者・フォロワー※
自転車系 youtuber けんたさん 氏	YouTube : 27.5 万人 Instagram : 4.6 万人
自転車系 youtuber 愛あむ 氏	YouTube : 3.5 万人 Instagram : 3.0 万人
自転車系インフルエンサー Acchan 氏	Instagram : 1.1 万人

※令和6年3月時点

2-2 イベント及び SNS による情報発信

(1) 啓発イベント試行の概要

SNS による情報発信を目的に、啓発イベント（マナーアップキャンペーン2024）として、令和6年3月に①荒川下流河川事務所長、サイクリングマナーアップ活動家、インフルエンサーによるサイクリングでの現地踏査、②利用ルール啓発のチラシ配布、③河川敷利用者インタビュー、④それらを踏まえたトークセッションを企画、実施した（図-1参照）。①～④に関して、SNS 上での情報発信を行った。



図-1 イベント実施箇所

足立区都市農業公園（キッチンとれたて前）では、休憩しているサイクリスト等へ、「荒川下流河川敷利用ルール」が記載されたチラシ配布を行いマナーアップに関する PR 活動を行った。



写真-1 利用ルール啓発のチラシ配布の様子

日の出緑地野球場では、普段河川敷を利用されている野球チームの方々から、普段危険と感ずることや工夫していること等の利用に際しての意見を伺った。



写真-2 河川敷利用者インタビューの様子

イベントを通して感じた荒川下流部の河川管理用通路の魅力やマナー向上に関する意見交換を行った。



写真-3 トークセッションの様子

(2) SNS による情報発信の概要

荒川下流河川事務所 公式 YouTube チャンネルでは、荒川の良さをアピールしつつ、利用上の問題に対して事務所として取組みを実施していることをPRしているというコンセプトのPR動画「荒川は、ゆったり行こう！！」を作成して情報発信した。



写真-4 「荒川は、ゆったり行こう！！」(抜粋)

各インフルエンサーの SNS からは、イベント当日の状況や啓発に関する内容の投稿を発信していただき、けんたさんの YouTube チャンネルでは、イベントを通じた啓発の動画を投稿していただいた。



写真-5 けんたさん投稿の啓発動画(抜粋)

3. 啓発活動の効果

YouTube 動画は、投稿後約 10 日で 12.2 万回再生、約 500 件ものコメントがあり、サイクリストとその他利用者の双方の相互理解促進に繋がるコメントも含まれていた。

コメント例：

- ・みんなで議論する場って大切ですね。面着でなくてもインフルエンサーさんを通じてみんなで考えることは有効ですね。
- ・利用する人お互いにルールを守り、マナーを尊重することで、気持ちよく利用したいと思いました。貴重な動画をありがとうございます。
- ・「車に乗っている気持ちで乗らない」と改めて思った。サイクリストだけのものではないからお互いにリスペクトが必要ですね。
- ・良い機会の活動と思いました。色々な利用者から、互いの意見を聞き合って、尊重し合えたらいいですね。等

荒川下流河川事務所等により令和5年10月から11月に実施された啓発活動のマナーアップ2023では、1,127名のサイクリストに利用ルールに関するチラシの配布による周知をしているが、今回の取組みでは、インフルエンサーによるSNS発信によって100倍以上の方に動画再生による周知ができた。このようにSNSを活用することで、情報発信と理解促進について、従来のチラシ配布に比べより大きな効果が確認できたと考えている。

表-2 インフルエンサーの投稿に対するリーチ数

種別	発信者	リーチ数 (表示人数・再生回数)
SNS (Instagram)	けんたさん	23,134
	愛あむさん	14,229
	Acchanさん	3,708
SNS (X旧Twitter)	けんたさん	38,532
	愛あむさん	23,545
YouTube	けんたさん	約122,000

※複数投稿の中から閲覧数が多い投稿のみを記載。

4. おわりに

本研究の実施にあたっては、国土交通省荒川下流河川事務所の業務を通じて、多大なるご指導を頂いた。また、グッド・チャリズム宣言プロジェクト韓代表理事、自転車インフルエンサーの皆様にも多大なご協力を頂いた。ここに厚く御礼申し上げる。